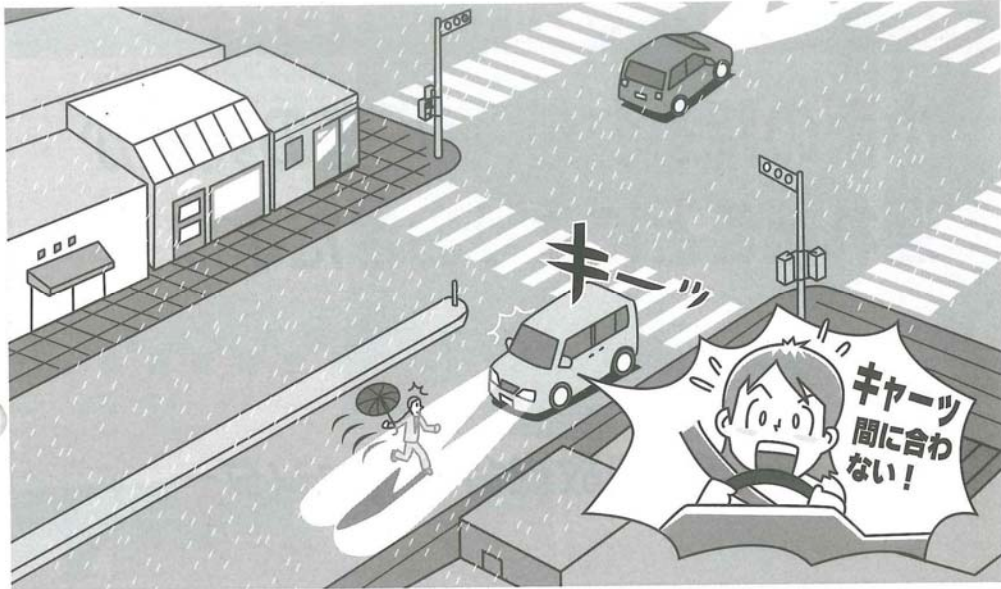


■事故の概況

人と車参照



事故類型：横断歩道外横断

発生日時：小雨の夕方

当事者A：普通乗用車 20歳代 女性

当事者B：歩行者 80歳代 男性

■ 事故の概要

Aは小雨の降り始めた夕暮れ時、買い物帰りに片側二車線の幹線道路を時速50kmで帰宅中でした。さしかかった交差点の信号は青だったので、少し減速してそのまま直進したところ、交差点を通過した直後に、前方を中央分離帯から横断し始めたBに気づき、慌てて急制動しましたが、間に合わず衝突しました。

■ 事故から学ぶ

Aの要因は前方不注視です。事故当時は暗くなって小雨も降っていたため、街路灯の光がフロントガラスに反射して前が見づらかったそうです。ですが、信号が青で考え事をしながらぼんやり運転していたことで、中央分離帯に立っていたBに気づきませんでした。交差点や横断歩道の近くには誰がいるかもしれない、という安全指向の判断・予測が防衛運転につながります。また、夕暮れ時や雨天時等は特に周囲が見えづらい状況になるので、環境に応じた安全確認の意識と速度選択が大切です。